

池田小学校の院内学級 5月の紹介です。

東病棟4階にある院内学級教室の大窓からは、緑が濃くなった五月山がぐっと近づいたように見えます。1年中山の形は変わらないのですが、5月だけは特別です。自然のすばらしさを実感できる毎日です。



今月も、7名の子どもたちが教室で生活しました。その中には、病状が一気に回復して教室見学とご挨拶で終わった子どもさんもいます。一方で、ゴールデンウィークのほとんどを病室ですごした子どもさんも複数いました。ゲームや工作で楽しく過ごしました。長期の子どもたちは学習もたくさん取り組んでいます。何より院内学級に来て明るい表情をしているのを見るとこちらも癒されます。

さて、先月いろんな「？」を思われた方も多い・・・と書きましたが、今月は。「池田小学校の子どもだけ？そんなのずるい！」にお答えします。

今年度すでに20名近い子どもさんが来級していますが、池田小学校以外の子どもたちがほとんどです。池田市外の方もいます。実は入院してきた子なら、どの子どもも遊んだり勉強したりできます。唯一の条件は、担当の主治医から「病状がよくなってきたから院内学級へ行ってもいいよ」の許可だけです。だから、入院すぐに来られる訳ではありませんが、不公平はありません。



写真左:病院屋上にある院内学級用学習園にサツマイモの苗を植えました。

写真右:新しい工作の骨組みです。まだ作成手順も完全ではないですが、めどは立ちました。近く完成形を披露します。子どもが作りたいたいと思うような工作にしたいと思います。